レポート
教育旅行の現場から

〝非日常の場〟に身を置き

東京都立白鷗高校附属中学校
新潟2泊3日
16年7月25～27日実施

山田昌史教諭

福島久登教諭

「森の学校」で水辺の生物を観察

日本の「食文化」を考える 農村の暮らしに触れ体験

128年の歴史を誇る東京都立白鷗高等学校附属中学校（善本久子校長、東京都台東区元浅草）は、都立初の中高一貫校となり12年目を迎えた。教育方針に「開拓精神」を掲げ、社会でリーダーとして活躍できるチャレンジ精神溢れる生徒の育成を目指す。

中高6年間で一貫性あるカリキュラムが求められる中で、「日本の伝統・文化理解教育と国際理解」を教育目標の中心に置く。日本の伝統・文化理解教育では、伝統文化の継承者に対して特別入学制度を設ける一方、全生徒が中学1年から音楽の授業で三味線を学び、演奏技術を習得する。

周辺地域との強い連携により特色ある地域の伝統、文化を学び、地域の行事にも参加する。中学1年では、浅草、上野の伝統工芸師の元を訪れ匠の技を体験。地元ボランティアガイドとともに浅草などを散策することで地域の特色を学ぶ。高校1年では浅草流鏑馬や鳥越祭などにも参加する。

中学2年では宿泊勤労体験学習として農家民泊を行っている。これは日本の食文化である米作りと農業について学習するもので、一貫校化以来続けられている。

まず米作りについて学ぶため、5月に千葉県で田植えを実施。事前学習としてお米マイスター」さまざま。実際に宿泊勤労体験学習を行うのは7月下旬。9年連続で新潟県上越市の公益財団法人ゆきだるま財団の学生団体受け入れプログラム「越後田舎体験」を利用し、上越市・十日町市で農村の暮らしや地域の歴史、自然について学んでいる。

越後田舎体験の特色は日本の原風景の残る里山で、農村の暮らしに触れる学習や、地元の農家の方々との交流を狙いとした農家民泊を行えることで、日本海と米どころである広い平野、棚田や雪国ならではの特徴であるブナ林で自然、環境、歴史民族学習ができる。

今年は7月25～27日に2泊3日で実施し、4クラス156人が参加。

具体的な日程は、1日目の午後が、各クラスを半分ずつ20人弱のグループに分けて、越後松之山の十日町市立里山科学館「森の学校 キョロロ」へ。

今年の民泊はあいにくの雨だったが、雨が止んだ間に、生徒たちは田んぼの草取り、夏野菜の収穫、じゃがいも洗い、薪割りなどを体験した。納屋でわらじ作りや、シソを使ったジュース作り、ホタル狩りなどを行った生徒もいた。

同学年を引率した山田昌史主任教諭は「中には減っていく棚田のきびしい現状について話してくれた家庭もあった。昔から苦労して大切にしてきた棚田が自分たちの時代で終わりになりそうだという話を直に聞いた生徒たちの学びは大きい」。

同地区での宿泊勤労体験学習に実施当初から携わる福島久登主幹教諭は「9月の文化祭で農業に関係した研究や演劇を発表するクラスが毎年2～3クラスある。今年はお米に関する体験ができるブースを考えているクラスもある。今は農業、農村についてもたやすくインターネットで調べることができるが、それだけでは分からないことも多い。宿泊勤労体験学習は、実際に泊まって、農業に関わる人と触れ合える貴重な体験になっている」と学習効果について語る。

2日目の昼食にそば打ちを体験

インストラクターから説明を受ける

地元野菜を使って天ぷら作り

民泊先で昔ながらの遊びを教わった

巨大な野菜を収穫

大阪市立西中学校
熊本・鹿児島方面2泊3日
16年6月19～21日実施

屋島豊市教頭

地震後初の熊本への大阪からの修学旅行

大阪市立西中学校（山岡良知校長）は、大阪市西区にあり、1947年に創立した同区で最初の中学校。校訓に「真理と正義を愛し、個人を尊び、勤労と責任を重んじる」という「真理敬仰・歓喜力行」を掲げている。

今年の修学旅行は、3年生が6月19～21日の2泊3日で熊本県と鹿児島県を訪ねた。参加生徒数は119人。目的は「自然体験や文化について触れる」「ホームステイをすることにより、社会生活の規律を守り、自主性を養う」「知覧での平和学習により、戦争の恐ろしさと平和の大切さを学ぶ」「班別行動により自主性、協調性、社会性を身につける」の四つ。

同校では、平和学習と人権教育に力を入れており、今回の修学旅行でも、鹿児島県南九州市の知覧での平和学習を中心に置いた。さらに、自然体験として熊本県人吉市、球磨川でのラフティングも行程に組み入れた。

初日は、新大阪駅で修学旅行専用の貸し切り列車に乗車。出水駅（鹿児島県）で降車後、出水市各農家の案内で農家民泊体験を実施した。

4、5人の班に分かれて約40軒に分宿。みかんや野菜の収穫、稲作、黒豚への餌やりなど、農業体験を中心に民家ごとに異なる体験メニューを行った。なかにはトラクターに乗せてもらった班もあった。夕食は鹿児島の家庭料理や収穫した野菜を使ったバーベキュー、石窯で焼いたピザなどを各家庭で食べた。

2日目は、バスで熊本県の人吉市へ移動。九州では記録的な大雨により球磨川が増水。当初予定していたラフティングを変更し、九州最大の鍾乳洞「球泉洞」を見学した。

球泉洞は延長4・8㌔、およそ3億年前の海底にあった石灰岩層が隆起してできたと推測されている。現在でも少しずつ侵食を続けており、独自の生態系を持つ洞穴生物が生息している。

午後からは、バスで鹿児島市内に移動して、城山や「維新ふるさと歴史館」などを見学した。

城山は、鹿児島市街地の中心部に位置する標高107㍍の小高い山で、クスの大木やシダ・サンゴ樹など600種以上の温帯・亜熱帯性植物が自生する。展望台からは桜島や錦江湾、鹿児島市街地を一望でき、天気の良い日には遠く霧島や指宿の開聞岳も見える。西南戦争の最後の激戦地で、西郷洞窟や西郷終焉の地など、西南戦争にまつわる史跡が多く存在する。

維新ふるさと館は、幕末から明治維新に活躍した西郷隆盛や大久保利通などの出身地である加治屋町にある。近代日本の原動力となった鹿児島の歴史や先人たちの偉業などを、映像、ジオラマ（模型）、ロボットなどで展示、紹介している。

その後、バスで鹿児島県の指宿市に移動。宿舎となった休暇村指宿では、レクリエーションとして大浴場での温泉入浴を楽しんだ。

3日目の午前中は知覧にある特攻平和会館で平和学習。特攻平和会館は、特攻で戦死した隊員の当時の真の姿、遺品、記録を後世に残し、恒久の平和を祈念する施設となっている。

同校では事前学習として、戦争経験者の瀧本邦慶さんを招いて、「平和学習講演会」を開催。瀧本さんは、航空母艦飛龍に整備兵として配属されたが、九死に一生を得て、遺書の実物を熱心に見学していたという。修学旅行に同行した屋島豊市教頭は「特攻隊員たちは生徒と年齢が近い。遺書は母親に宛てた内容のものが多かった。戦争によって家族と別れて戦地に向かった当時の特攻隊員の気持ちは、生徒の胸に響いていた」と話す。

その後、鹿児島中央駅から新幹線で帰路に。熊本駅で別の新幹線に乗り換える待ち時間中には、熊本県からのサプライズ企画として、熊本県のPRキャラクター「くまモン」が登場。生徒たちは、熊本県への修学旅行実施を喜ぶくまモンとの記念撮影を楽しんでいた。

今年の修学旅行は、3月の熊本地震の発生で実施が危ぶまれたが、担当したJTB教育旅行支店の柔軟な対応で、延期や方面変更もなく、予定通り行えた。地震発生以降、大阪市内の中学校による熊本県への修学旅行は同校が初めてだったため、現地では地元の新聞やテレビの取材を受けた。

屋島教頭は「1年生の時に熊本県と鹿児島県への修学旅行を決めて、事前学習などの準備も行ってきたので、実現できて良かった。多くの歓迎やくまモンのサプライズ、マスコミの取材という通常の修学旅行ではできない経験も生徒たちができた」と話す。そして、「震災後の困難な時だからこそ、予定通りに修学旅行を実施し、地域に貢献したかった。地元のみなさんにわずかながら勇気を与えられたのではないかと思っている」と、意義ある修学旅行になったことを喜んでいる。

知覧の特攻平和会館での平和学習

くまモンがサプライズ登場

出水での民泊お別れの会

維新ふるさと館で

パン作り

球泉洞で

ミカン収穫を体験

教育旅行の新しい形　伊勢志摩　で学ぶ旅

伊勢志摩でしか味わうことのできない豊かな自然や食材、生活文化や歴史、産業等の観光資源を活用した体験や見学プログラムを提案することにより、高い学習効果の得られる教育旅行プランの実現を目指すと共に、生徒又は学生の皆さんの成長過程に必要な、心に残る思い出作りのお手伝いをしていきます。

サミット開催地 伊勢志摩へ

安倍総理大臣は、伊勢志摩でのサミット開催を発表した際に、「日本の美しい自然、そして豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わっていただける場所にした」と選定理由を述べました。世界のリーダーたちが肌で感じた、日本の美しい自然、豊かな文化、伝統を感じに修学旅行で伊勢志摩を訪れていただきたいと思います。

横山展望台
サミット開催地賢島を一望

伊勢神宮
歓迎行事で訪問

ミキモト真珠島
配偶者プログラムで訪問

パンフレット&企画書によるご紹介
パンフレット・企画書テンプレートをWEB上でダウンロードしていただけます。発送にも随時対応しておりますので、下記窓口までお気軽にお問い合わせください。

モデルコースをご紹介
環境学習や体験学習などの豊富なコンテンツを基に、教育旅行の目的に合ったモデルコースをご紹介いたします。また、京都など他地域と組み合わせたモデルコースも合わせてご案内しています。

動画で詳しく体験メニューをご紹介
様々な体験プログラムを動画でご紹介しています。Youtubeでご覧いただける他、DVD発送の対応もしています。

伊勢志摩教育旅行の総合窓口
〒519-0609
三重県伊勢市二見町茶屋111-1
伊勢市二見生涯学習センター1F

伊勢志摩学生団体誘致委員会
（公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構内）
TEL：0596-44-0800
FAX：0596-42-2929
MAIL：info@iseshima-kanko.jp

伊勢志摩の体験プログラムならびに宿泊施設の情報を集約し、伊勢志摩教育旅行の窓口として先生方や旅行会社の方からのお問い合わせ、資料請求にお応えします。

詳しくはコチラ
伊勢志摩学生団体誘致委員会
ホームページ
www.iseshima-kanko.jp/business/gakuyu/

映画村の体験学習
本物と自然と昔にこだわる

お手軽な時代劇の扮装体験
時代劇の扮装をして映画村の江戸の町を歩いてみませんか。メイクなし、かつらも省いた着物の着付けだけのお手軽プランなら、短時間で「変身」して時代劇の世界をお楽しみいただけます。
【扮装種類】町娘・振袖若衆・武家内儀・千姫・若侍・遠山奉行・町大・浪人・坂本龍馬・新選組隊士・忍者

清水焼絵付け体験
【染付】素焼の生地に絵付けをしていただきます。染付の色はグレーと茶色の2種類あります。
【京焼】白色系に焼き上げた器やグラスに3～5色のカラーを使って絵付けをしていただきます。

京扇子・京うちわ手描き体験
舞踊や茶道にも欠かせない扇子やうちわは京都の伝統産業のひとつです。専門家の指導のもとにオリジナルの絵柄を描いて楽しんでください。

※体験学習は全て有料・要予約となります。

お手軽な時代劇の扮装体験

清水焼絵付け体験【染付】
清水焼絵付け体験【京焼】

京扇子・京うちわ手描き体験

体験学習のパンフレット・DVDのご請求、お問い合わせ、お申し込みはこちらまで!

TOEI KYOTO STUDIO PARK
東映太秦映画村
http://www.toei-eigamura.com
〒616-8586　京都市右京区太秦東蜂岡町10番地

ナビダイヤル ✆0570-064349　お問い合わせ ✆075-864-7716
営業時間 /9:00～17:00（3～7、9月の平日と10、11月毎日）
9:00～18:00（3～7、9月の土・日・祝と8月毎日）
9:30～16:30（12～2月の平日）
9:30～17:00（12～2月の土・日・祝）
休村日 /2017年1月16日～20日